

平成 27 年度 ニーズ調査の進め方

(考え方)

- ・ 1 層レベル（全市的）にどのようなニーズがあるのかを把握する。
- ・ アンケートだけでは見えてこないニーズを的確に捉える。

■ 2本の柱

- ① ワークショップの活用
- ② ヒアリング

◇ ワークショップによるニーズ調査の流れ

1. 市内全町会に対しアンケートを実施

→ ニーズを探るためのアンケートではなく、ワークショップ実施地域を絞るためのアンケート。

※人口構成等データのな特徴

地理的な特徴

アンケートによる町会の声やワークショップへの協力度等を加味して判断

2. 実施地域に訪問して、ワークショップ開催。

3. ニーズの掘り出し

◇ヒアリング

※ 上記とは別に、関係機関、関係者等へは個別にヒアリングしていく。

◇注意点

※ ニーズ調査に関しては、教育大との連携により実施

（アンケート内容・表記の検討、内容分析、ワークショップ進行協力等）

※ ワークショップとヒアリングの結果を総合的させ、ニーズを明確にしていく。

※ ワークショップ、ヒアリングとも、継続的に実施していく。

※ 見えてきた結果・状況については随時報告し、次年度以降の事業計画へ反映・提言の材料となるようにしていく。